

# 憩いのパークの魅力

## 大賀ハスのおはなし



◀ピンクの大輪が、訪れる人たちの目を楽しませてくれます

7月は大賀ハスの見ごろが最盛期を迎えます。今では、花桃に次ぐ古河公方公園を代表する花になりました。6月に入ると公園事務所には市内外から見ごろの問い合わせが後を絶ちません。今回は、大賀ハスの歴史を振り返ってみたいと思います。

昭和26(1951)年、千葉市で約2,000年前の地層から古代ハスの実3個が発掘され、うち1個の発芽に成功。発掘した大賀一郎博士の名にちなみ「大賀ハス」と名付けられました。

古河公方公園の大賀ハスは、昭和50(1975)年に千葉市からハスの根2本をいただいたことに始まります。公園に植えられた大賀ハスは、その年の夏に花を咲かせ、まちなみの話題となりました。

その後、ハス池は拡張され、現在の面積は3,000㎡ほどです。ハスの花は朝4～5時ごろから開き始め、大きく開くのは7～9時ごろ、昼に

は大半が閉じます。

ハスの花の寿命は4日と短く、1日目は「とっくり型」、2日目は「おわん型」、3日目は完全に開いて、4日目には散り始めます。

夏の朝、早起きをして「太古の昔、ハスはどんな景色の中で咲いていたのだろうか」、「古代の人々は、今と同じであろうハスの花を見てどう感じたのか」など思いを巡らせながら、ハス池を散策されてはいかがでしょうか。

ハスのもう一つの楽しみ、花が終わった後の果托があります。50円で販売していますので、インテリアや手芸の材料にいかがでしょうか。

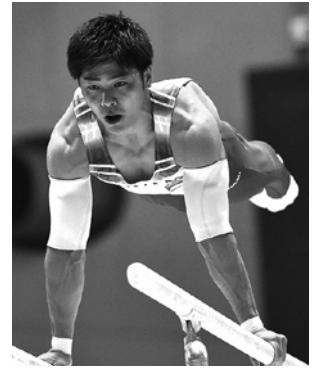
【問】古河公方公園(古河総合公園)管理棟 ☎47-1129



◀果托は管理棟で販売しています



## 表紙写真



いよいよ来月8月5日に開幕するリオデジャネイロ五輪。古河市出身の山室光史選手(コナミスポーツクラブ所属)が、体操男子の代表選手に決定しました。ロンドン五輪に引き続き2大会連続の代表入り。団体での金メダル獲得を目標に大舞台に挑みます。

古河市からも熱い声援を送りましょう。

「がんばれ、山室選手！」



## 寄付



齊藤一恵さん(女沼)より、障がい福祉施策への活用として30万円の寄付。

古河地区危険物安全協会(齊藤一恵会長)より、12万5,300円の寄付。

ライオンズクラブ国際協会333-E地区(下川利澄地区ガバナー)より、リバーフィールド古河内のサッカー場等整備費として50万円の寄付。

## 古河市データ

### 人口

(6月1日現在) 住民基本台帳から	
総人口	144,218人 (-93)
男	72,524人 (-54)
女	71,694人 (-39)
世帯数	59,165世帯 (-3)
( ) 内は前月比	